あとがき

核データ部会の活動に関しては、以前に核データ利用者支援小委員会（愛称：核データなんでも相談室）の運営に関与させていただいていたことがありますが、今年度から核データニュース編集委員を務めさせていただくことになりました原子力機構の横山賢治と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

核データニュース編集委員としては、各号のデータをホームページにアップロードする作業のお手伝いなどをさせていただいておりますが、HTML 形式のファイルを直接編集したり、昔の記事の内容を確認したりする機会もあり、これらのデータからも長年に亘って多くの方々が核データニュースの運営を支えてこられたことを感じています。現在の核データニュースは核データ部会が発行しているため、核データニュースのホームページは学会のサーバ上で運用されていますが、サーバの移行期ということで、以前の JAEA のサーバでも並行して運用されています。このため、現在はまだ、Google 等で検索すると JAEA のサーバの方が先に見つかるようです。いずれ学会のサーバでの運用のみとなりますので、もし、このあとがきを JAEA のサーバ上で読まれているようでしたら、この機会にぜひ学会のサーバ（http://www.aesj.or.jp/~ndd/ndnews/）にアクセスしていただいて、検索結果のランクアップにご協力いただければ幸いです。

最初の核データニュースが発行された 1976 年頃の記事を見ますと一部に手書き部分があることなどに時代を感じておりますが、最近、記事投稿用のテンプレートをホームページから直接ダウンロードできるようにいたしました（http://www.aesj.or.jp/~ndd/ndnews/submit.html）。核データニュースのトップページに「投稿方法」というリンクがありますので、既にお気付きの方も多いかと存じますが、この場をお借りして改めてアナウンスさせていただきます。これまでは Word 用のテンプレートを執筆者の方に直接お渡ししていたようですが、今回、新たに LaTeX 用のテンプレートも整備されました（このあとがきも「LaTeX」というロゴを使いたいというだけの理由で LaTeX で書いています）。核データニュースには「テクニカルコメント」という非常に専門的な記事を書くための枠組みもありますので、ぜひご活用いただければと思います。

横山　賢治　2018 年 2 月

日本原子力学会核データ部会
核データニュース編集小委員会
喜多尾憲助（元放医研）、山野直樹（RADONet）、石川　眞（原子力機構）、
岩本　修（原子力機構）、大塚直彦（IAEA）、金　政浩（九大）、
小浦寛之（原子力機構）、中村詔司（原子力機構）、横山賢治（原子力機構）、
柴田 恵一（委員長、原子力機構）